

2 広域的な課題の調査研究に関すること

イ 福祉及び保健医療の推進に関すること

主管：健康福祉課



経緯

福祉、保健、医療等民生関係施策は、頻繁に制度改正が行われており、行政機関はその経緯を踏まえ、適正な施策を構築していくことが求められています。木曽地域では、過疎化と少子高齢化が進む中であって、全ての住民の基本的な人権が尊重され、安心して生活を営むことができるように、福祉・保健・医療の連携による支援が求められています。

木曽広域連合では、福祉・保健・医療の方向性ときめ細かな連携等を行政へ提言することを目的に、「木曽広域連合福祉・保健医療懇談会」を設置し、懇談会活動を通じて様々な広域的課題の調査研究を行ってきています。

現状と課題

木曽広域連合福祉・保健医療懇談会の提言から、現在の木曽郡内の福祉・保健医療において対応が不十分な以下の課題が浮かび、今後どのような形で行政施策へ反映していくのかを検討する必要があります。

1 福祉関係

- (1) 発達障がい児への対応など多様化・複雑化する課題への支援や対応を行うため、福祉や教育の分野を超えた各関係機関の連携体制の構築が求められています。
- (2) 木曽圏域自立支援協議会の協議内容と連携した障がい福祉施策の展開が課題です。
- (3) 木曽病院の認知症疾患医療センターを活用した地域連携による認知症対応策の構築が求められています。
- (4) 分野をまたぐ福祉の課題として、以下が挙げられます。
 - ① 介護・福祉サービス事業所の人材確保と事業所存続のための方策の検討
 - ② ボランティア等の支え合い活動の実施体制の検討
 - ③ 木曽地域における成年後見支援センターの設置検討

2 保健・医療関係

- (1) 保健では、介護予防につながる生活習慣病の予防等の推進策が求められています。
- (2) 医療では、以下の課題検討が求められています。
 - ① 地域における医療機関の連携方法
 - ② 医師不足対策としてのオンライン診療導入
 - ③ 地域の看護師等確保策としての信州木曽看護専門学校への地元志願者増加策

3 福祉と保健・医療の連携

- (1) 福祉と保健・医療の総合的対策の検討としては、以下が挙げられます。
 - ① 大規模災害発生時の連携方法
 - ② 社会的弱者に配慮されたまちづくりへの対応
 - ③ 福祉と保健・医療連携における ICT 活用

(注)「障害」の表記について

木曽広域連合では、通例として長野県の『「障害」表記のガイドライン(平成 26 年 2 月 7 日制定)』を参考に「障害」という用語が人の状態を表す場合は、原則として「障がい」と表記し、法令の名称や用語を用いる場合などは例外として「障害」を用いています。

今後の方針

木曽地域の福祉・保健・医療の課題を明らかにし、行政施策のあり方を見据えるため、木曽広域連合福祉・保健医療懇談会の活動を軸とし、調査研究を進めます。

施 策

- 1 福祉及び保健医療の推進に係る調査研究を行います。
 - ① 児童・家庭福祉、障がい児・者福祉、高齢者福祉、分野をまたぐ福祉の各課題の調査研究
 - ② 保健、医療の各課題の調査研究
 - ③ 福祉と保健・医療の総合的対策が求められる課題の調査研究